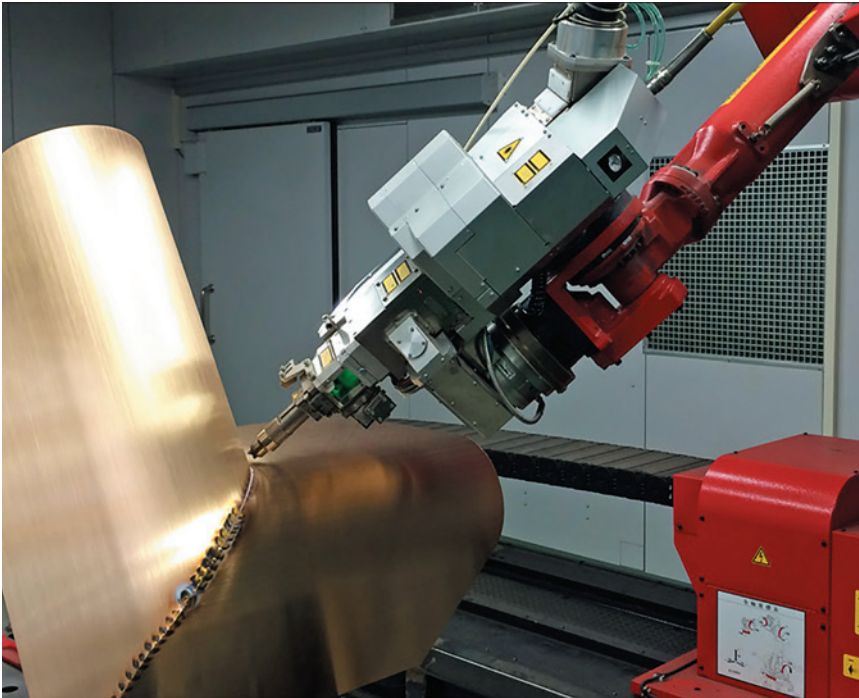


ファイバーレーザー溶接



TIG溶接で仮止め後、レーザー光による溶接が施される3次元形状の製品

光ファイバーから照射する光を熱源とするレーザー溶接とロボット技術を融合させ、自動化を図った溶接技術です。高精度かつ高密度なレーザー光を用いるため、溶接ビード幅が小さい一方で溶け込みが深く、熱による変色や変形を極小化。長尺や大板、複雑な形状の製品など、従来の工法では不可能だった高品質な溶接を実現します。さらに異種金属の接合、加工実験などにも対応しています。

特徴

- 最新設備を駆使した次世代型溶接
- 極低ひずみで変形や焼けが少ない仕上がり
- 大板、長尺、曲線、3次元形状などの溶接
- 少量かつ多品種製作に対応
- 長距離連続溶接
- 異種接合対応

技術仕様

対応可能素材

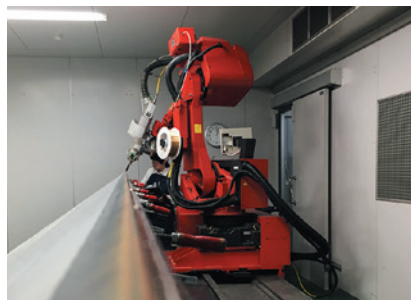
ステンレス(0.8~6.0mm)
アルミ合金(1.0~5.0mm)
銅合金(1.0~3.0mm)、鉄(0.8~6.0mm)
チタンやニッケル合金にも対応可能

対応サイズ

~W1200 x L7000 x H1300mm
(寸法を超える場合は要相談)



大型3次元製品の溶接にも対応



長尺の鏡面ステンレス材の接合にも最適

事例



東急プラザ表参道原宿
万華鏡スタイル外装パネル(ステンレス)



ASIJ(アメリカン・スクール・イン・ジャパン)調布キャンパス
装飾外装(ステンレス)